

CENTENARY

2009. 7. 22
第 31 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成



心肺蘇生 講習会

7月9日(木)に職員を対象にした心肺蘇生講習会が開催され、昨年に続き加古川消防署救急隊員3名の方から直接ご指導いただきました。15日には蘇生法を学んだ教職員によって、生徒を対象に講習会を実施し、各部から2名の代表を通して、人工呼吸、AEDの操作を広めていきました。(KE)

とこまつ 常松賞

本校の校木「常松」にちなみ、昨年度から生徒の善行に対し、常松賞を贈っています。

文化祭当日に、校門の前を流れている農業用水路におばあさんが転落し、気が動転して上がれなくなっていたところ、通りがかった3年生の神田圭菜さん、松田有加さん、藤原紗弥さんの3人が協力し、制服が濡れるのも厭わず用水路まで入って救助にあたりました。

後日おばあさんの家族の方が学校にお礼に来られましたがお喜びの表情がとても印象的でした。本当に気持ちのよい行いです。

今回で三度目の常松賞になりますが、いずれも困った人に救いの手をさしのべる行いで、西高の誇りとして定着していきます。(HE)



甲子園目指して

7月11日(土)姫路球場において、第91回全国高等学校野球選手権大会の開会式が催されました。本校野球部は堂々とした入場行進を見せ、甲子園に向けての第一歩を踏み出しました。

7月12日(日)明石球場において、多可高校と対戦し、多くの卒業生や生徒、そしてPTAの方々熱い声援を受けて、10対3、8回コールド勝ちで初戦を制しました。

三年生のエース岸田の好投と、ベンチとスタンド



の一致団結した応援の賜物です。二回戦は、7月15日(水)姫路球場で高砂南高校と対戦しました。同じ地区同士にありがちな戦いにくさも克服し、加古川西のリードオフマン、徳永の大活躍により9・2、しかも7回コールドゲームという快挙を成し遂げました。この試合7回、徳永の第5打席目、ここで単打が出ればサイクル安打達成の瞬間です。彼は、チームのために、迷わず一塁ベースを蹴って二塁ベースに突進しました。

次の対戦相手は、県立兵庫商業です。今の勢いに乗って進撃を続けていきたいと思います。(KN)

ちょっと一言 橋本左内シリーズ「啓発録」その3、「志を立てる」という言葉です。自分が向上していこうとする心を、しっかりと心に定め、人生の目標を打ち立てることが大切です。その4は、「学に勉める」です。学とは習うことで、優れた人物の立派な行いや、良い仕事を、その足跡をたどって習い、自分も実行していくことです。